

課題別委員会
自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会
自動運転企画分科会（第25期・第5回）
議事要旨

1. 日時 令和4年3月2日(水)15:00~17:00

2. 会場 オンライン開催(Zoom)

3. 出席者（敬称略）

永井、大倉、鎌田、中野、宮崎、遠藤、須田、藤井、有本

4. 資料

資料1：意思の表出の申出書

資料2：意思の表出について

資料3：意思の表出・委員会・企画のスケジュール案

資料4：科学的助言機能・「提言」等の発出フロー

資料5：第24期インパクトレポート

資料6：「学術の動向」特集1企画案

資料7：安全工学シンポジウム2022企画アンケート依頼

5. 議題

（1）概要

12月の学術フォーラムは概ね好評であった。これから、提言、見解の出し方が変わる（査読有）。1月に菱田副会長に会い、状況を確認した。

（2）第25期の意志の表出について

意思については、第一ステップとしてELSIを出す。資料1から4に沿って、意志の表出の方法が説明された。25期の最後に提言をまとめ、期末にシンポジウムを行う。資料5に沿ってインパクトレポートの説明があった。

（3）学術の動向の特集号（ELSI関係）について

学術フォーラムの内容は、学術の動向（資料6）に特集号として載せて、ELSIに絞った見解を出す。見解として対応委員会に申し出て、その後、提言として対応委員会に出すことになる。菱田副会長には委員会活動の説明をすることにする。メール審議を3月14日締め切りにして課題別委員会にて審議し、承認が得られたら、編集委員会に企画書を出す。9月頃には発行する。

（4）安全工学シンポジウムのOS/PDの案について

今年は6月29日から7月1日にかけて行われる。今年のテーマは、気候変動を見据え

た安全・安心・安定である。カーボンニュートラルを見据えた内容にする。オーナーカーからサービスカーへの転換をテーマにする。スマートモビリティプラットフォームがトピックとして提案されたが、データの話しがメインになる。自動運転にすると、RoAD to the L4 について議論することになる。横山利夫氏、石田東生委員、中村文彦先生に話して貰うのがよい。また、デジタル庁が提唱しているデジタルモビリティも提案された。安全工学シンポの企画案は鎌田幹事がまとめる。4/14（木）に実行委員会があり、それまでに具体案が必要である（資料7）。

（5）今後の委員会スケジュールについて
資料3が確認された。

（6）その他
ELSI の専門家に偏りがあるとの指摘があったが、学術の動向の読者にとっては、ELSI の導入部分を書いていただけるのは貴重であり、価値はある。

（議事録作成：幹事 鎌田、中野）